

	山形大学 保健系分野 (看護学・医療技術学、学際・特定)
学部・研究科名	医学部看護学科 (第1年次:60名、第3年次:5名) 医学系研究科看護学専攻 (M:16名、D:3名)
沿革・設置目的	山形大学医学部が設置された後、平成5年、看護学に関する教育・研究を行うことを目的とし医学部看護学科が設置された。 昭和48年(1973年) 山形大学医学部設置 平成5年(1993年) 医学部看護学科設置 平成9年(1997年) 大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)設置 (平成19年(2007年)に博士課程後期を設置) 平成16年(2004年) 国立大学法人に移行
強みや特色などの役割	<p>○ 山形大学医学部看護学科の教育理念、教育目標に基づき、医学科や附属病院との人事交流等の密接な連携を活かし、実践と一体化した教育を行う。看護教育におけるコア・カリキュラムの策定及び山形大学医学部版OSC Eに基づくStudent Nurse制度を組み込んだ教育プログラムにより学生の主体的学習を促進し、かつ実践力と論理的思考や探究心を持ち複雑な疾病に対応でき、応用力の高い教育者・リーダーとなれる看護人材を育成する。</p> <p>○ 大学院博士前期課程を中心に、専門看護師等の高度実践看護師を育成する。また、博士前期・後期課程において研究マインドを持ち、少子高齢社会の中で地域住民の健康の保持増進及び患者のQOLを高めるための実践活用性の高い研究を通して看護を創造的に開発し、看護実践・研究のリーダー及び大学教育者となる人材を育成する。</p> <p>○ 教員の高い研究力を基盤とし、高齢化先進地域である山形県をモデルとして、全国的に重要なニーズである在宅医療・在宅看護を推進する。在宅医療・在宅看護教育センターを核として、医師、看護師、歯科医師、薬剤師等の専門家による連携のもとに生涯教育を推進し、在宅がん緩和看護等の地方都市における看護師の生涯教育システムのモデル構築など、地域に根ざした課題解決に貢献し、その成果を国内外に発信する。</p>